

サヌキ エアウェイ

SANUKI-AIRWAY (SAW)

挿入、マスク換気が容易、経口 FOB 挿管可能な多用途エアウェイ

【特徴】

- ① 全面の梨地加工と軟質 PVC 製：本品および胃管や FOB の円滑な出し入れが可能。
- ② 背面から取り出し易いスリット(約 4.0~1.5mm)付。
- ③ 大口径：気道への開口部(13x17mm)が広く、マスク換気が容易。
- ④ バイトブロック構造：上部は内視鏡用バイトブロック仕様。上下歯列のアライメント調整が容易。上顎前突、欠歯症例、救急搬送等に最適。

【用途】

- 経口 FOB 挿管ガイド
- 気管挿管後の経口/経鼻胃管挿入ガイド
- マスク換気時のエアウェイ

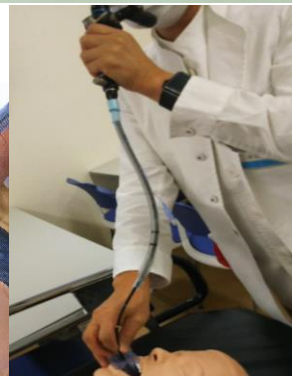
軟質 PVC 製

Latex Free
DEHP Free



経口胃管挿入完了後、SAWを抜去する図

経鼻胃管挿入後の図



<短期的使用口腔咽頭エアウェイ>

(EOG 滅菌済)

品番	仕様	包装
SA13100	成人用 100mm(開口部内径 13 X17mm, バイトブロック部外径 27mm, 全長約 100mm)	10個/箱

医療機器届出番号:13B1X00008000036

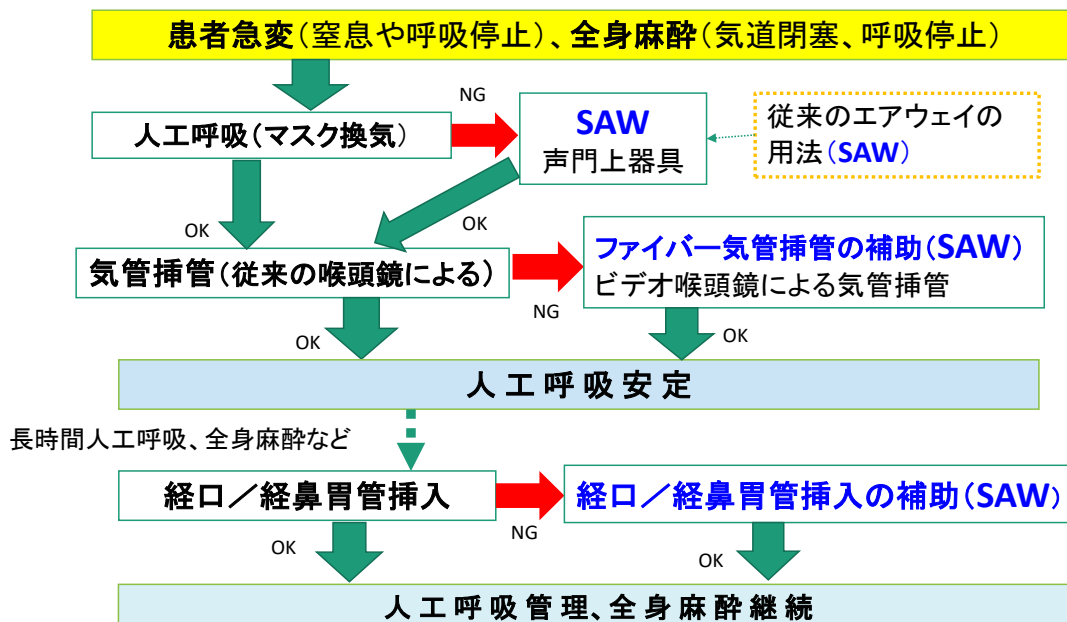
製造販売元

株式会社 **フジメディカル**

〒160-0004
東京都新宿区四谷 4-1 細井ビル 5F
TEL 03-3356-8377 FAX 03-3356-8380
http:// www.fuji-medical.co.jp

販売代理店

【S AWの用途】



【サヌキエアウェイ(SAW)挿入法】

1. 患者の口を開け、口腔内の異物があれば取り除く。
2. SAW先端を、開口部正中から舌の前面に沿って気道方向に挿入する。
3. SAWのつばの部分の部分を両手の指で持ち適正な深さに調節し下顎を挙上してSAWの位置を安定させる。
4. 気道が開通したか確認する。

【気管挿管後の経口または経鼻胃管挿入ガイド】

1. 気管挿管後、SAWを開口部正中から、舌の前面に沿って気道方向に挿入する。挿入長を調節する。
2. 手袋を装着した利き手の掌(以下掌)に十分な潤滑ゼリーを取り、胃管の55cm付近から先端に向けて全周性にゼリーを塗布する。
3. ゼリーのついていない手で、頸部を気管ごと持ち上げたまま、[経口胃管時] SAW開口部から、[経鼻胃管時] 鼻孔から、胃管を挿入する。
4. (指を使わず) 掌のみで胃管を持って挿入し、抵抗がなければ55cmまで進める。
5. 胃管が挿入されたかどうかを確認する(胃管への空気注入を胃部で聴診するか胃液などの吸引を確かめる/胸部X線写真で胃部への挿入を確認する)。
6. [経口胃管時] 胃管を押さえながら背面のスリットからSAWを抜去する。

【経口FOB挿管ガイド】

1. 外径5mm前後のFOBに潤滑剤を塗布し、目的とする気管チューブを通しておく(滑り落ちないように、テープなどでFOBの根元に気管チューブを仮止めしておく)。
2. SAWを患者に挿入し、つばの部分を持って適切な深さに調節し下顎を挙上する。
3. 十分なマスク換気と酸素化の後に、SAW開口部からFOBを挿入する。この時、助手が尾側から下顎を持ち上げ、SAWを正中へ保持する。また、術者のファイバー操作により喉頭が見えやすい位置にSAWの深さと方向を調節する。(マスク換気で酸素化を十分に行った後も、挿管操作の間に低酸素にならないようにSpO₂などで十分な監視をおこなうこと)。
4. 気管内にFOBを挿入した後、背面のスリットからFOBが抜けないように押さえながらSAWを抜去する。気管チューブの仮止めテープをはずし、気管チューブをFOBに沿って気管内に挿入する。
(コツ: チューブが引っかかるときはFOBを右または左方向に向けた後、気管チューブを少し引き戻すと、抵抗なく進む)。
5. 適正な位置に気管挿管できたことを、換気により確認する(EtCO₂の呼出、胸郭の上がり、胸部5点聴診などによる)。